

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	1	法令を遵守したスペースは確保しています	利用者人数によっては狭く感じる日もあり、公園や公共施設、体育館を利用する事もあります。
	2	職員の配置数は適切である	4		1	法令に基づいて職員配置を行っています。	保育士・児童指導員を含め法令に基づいた職員に加え増員しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	3	事業所が2Fの為階段の昇降は職員が付き添います。	危険箇所を周知し、安全確保に努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			毎日のミーティングで支援の振替をしています。	支援内容の向上や改善など話し合い、それらの内容を職員間で共有しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		1回/年11月に実施しています。	集計し問題点等を話し合い業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		チャイルドハートグループのHPに公表しています。	翌年1月に集計結果を各保護者様に公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	1		今後必要に応じ検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			1回/月社内研修、定期的なチャイルドグループ研修及び外部研修に参加しています。	外部研修を広げ、情報や資質の向上を目指していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		利用者、保護者様の意向を十分考慮し計画書を作成しています。	アセスメントの時間を十分に取り、内面の部分まで把握し、職員間での分析の上、相談支援員の計画に基づき計画書を作成していきます。
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		統一したアセスメントツールを使用しています。	必要に応じて項目の見直しを行っています。	
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			職員間で意見交換し、立案しています。	子ども達、保護者様の意見や希望を考慮し、子ども達一人一人の様々な角度から固定化しないように工夫して行きます。	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			子ども達が満足し成長に繋がるプログラムを立案しています。		

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			休日、長期休暇は日頃できない活動を取り入れています。	日頃できない外での活動を多く取り入れ、地域活動や社会活動に繋げていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			個々の状況や状態を踏まえ計画を作成している。	集団活動の中から、お子様一人一人の個別で取り組む課題を取り入れながら、様々な角度から支援していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎日ミーティングを開催し、活動内容、活動中の留意点等を話し合っています。	気づいた点、決定事項、変更事項、状況報告等全職員が共有できるように、メールで発信し、支援内容を統一できるようにしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	4		1	翌日に振り返りを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		1	日々連絡帳で支援状況を報告しています	計画書に添った支援を心掛け、客観的な視点で記録するようにしていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			6っか月に一回モニタリングを行っています。	職員間との意見交換、保護者様からの聞き取りを行い見直しを行っています。それ以外見直しが必要に応じ見直しに努めていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			1回/年社内研修で実施しています。	全職員が常時閲覧できるように設置し、支援に取りいれるようにしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児童発達支援管理者が出席しています。	決まった職員だけでなく、誰でも参加できるようにお子様の状況が共有できるようにしていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			利用初回時、年度始まり、問題発生時には面談をお願いしています。また、送迎時に情報の交換を行っています。	学校によって違いはありますが、利用予定日の連絡、保護者会での情報の共有、トラブル発生時の話し合いなどがあります。今後もより深めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	1	現在は受け入れはしていません	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	1	新一年生の受け入れの際は就学前の幼稚園等に面談をお願いしています。	今後、より相互理解に深めていかななくてはと考えております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	1	現在は該当者がいませんが、該当者が発生した場合は保護者様確認の情報共有していきます。	日々の支援記録を記録、保管をしっかりとしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		事業所向けの研修にはできる限り参加していきます	専門機関との連携をしっかりとしていきます
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		交流の設定はしていませんが児童館や公園を利用した時地域の子ども達との関わる機会があります。	今後地域のイベント等に参加し活動の機会を増やしていきます。	

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	1	子ども連絡会は参加しています。	その他協議会があれば参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			送迎時に直接の連絡や連絡帳、お電話、メールなどその都度状況や状態をお伝えしています。	共通理解のもと支援を行えるようにしていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		個々での対応でアドバイスをさせて頂いています。	保護者様が気楽に参加でき、グループ形式で一緒に学べ、子育ての負担が軽減できるような企画を考えていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		利用契約の際に支援内容・利用者負担等を含め契約書・重要事項説明書の契約を結んでいます。	変更があった場合は書面にして説明後サイン印鑑を押印して頂きます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		保護者様より、相談やお悩み事があった場合随時電話、メール場合によっては面談や訪問して助言と支援を行っています。	安心して子育てができるように助言を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		家族参加のイベントは現在中止しています。状況が落ち着き次第再開していきます。	保護者様同士の連携の機会が少ないのでできるだけ沢山の参加ができるように考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2		苦情解決責任者を設定し迅速なかつ適切に対応を心掛けてます。職員間で話し合い結果を書面にするとともに、その旨を報告しています。	苦情の意向をしっかり受け止め、改善策を講じていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			毎月通信や行事予定を発行し、保護者様に発信しています。	保護様よりが知りたい情報を把握し、今後も発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	5			秘密保持の研修を1回/年行いプライバシーの配慮を職員間で周知徹底しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			お子様には視覚支援ツールを使用したり、保護者様には連絡帳やメール、書面にて伝達しています。	個々に特性を理解し、意思疎通や情報の伝活をしていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1		特別な行事の開催はしていません。	駐車場や散歩等近隣の方と出会った時は積極的に挨拶をして開かれた事業運営を目指します。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	1	各種マニュアルを策定し、1回/年職員間で研修を行っています。緊急時、感染の対応は保護者様に年度始めに書面にて周知を図っています。	マニュアルの見直しを継続的にしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1		1回/6ヶ月火災、地震、災害を想定して避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		虐待マニュアルを作成し、社内での研修を行っています。	外部研修に参加していきます。

41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	1	契約時に説明をしております。現在は行っていませんが、やむを得ず行う場合は、職員間での話し合い、保護者様への説明、ご理解を得た上で計画に基づいて実施していきます。	相談支援員への相談をし支援計画へ記載します。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		全ての保護者様へ確認をしております。	現在はアレルギーのお子様は利用になっていませんが、今後受け入れた場合は医師の指示の上対応していきます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			起こった場合は細かく記載し、職員間で情報の共有をしております。	起こりえた事は細かく記載、分析し再発防止に努めます。